カナリヤ通信

第37号　特集号

～働き方について考え、気づく～

創刊から3年

38号は12月12日です。テーマは「女性活躍へ企業の取り組み紹介」です。

女性活躍へ意識を変える時

建設産業界における女性（男性）の働き方について考え・気づく紙面「カナリヤ通信」を2015年11月に創刊してから３年となりました。この３年、女性たちの仕事に対する意気込みや不安、また課題について専門家の意見も交え掲載してきました。これからは、男女問わず働き方改革が加速します。働き方改革法案も国会で成立しました。働きやすい環境を整備し働きがい・やりがいがある仕事をすることで、建設産業界全体が活気ある業界となることでしょう。今回の特集号では、女性リーダーや現場で働く人など、さまざまな立場の人たちの意見・思いを発信します。

気遣い欠かさず働きやすい環境に

全国商工会議所女性会連合会会長
株式会社チェックメイト代表取締役
藤沢　薫氏

私は、36歳まで仕事をしていましたが、結婚を機に専業主婦になりました。大正生まれの母から「結婚したら何もできなくなるから、それまでに好きなことをやりなさい」といわれていたこともあって、さまざまな仕事を経験しました。しかし、結婚から10年が経過したとき夫が他界し、経営していた会社を引き継ぐことになったのです。

大病きっかけに気持ち軽く

私の会社は東京都新宿区にあり、ビル賃貸管理業を営んでいます。最初、社長に就任した時は敵陣に乗り込むような感覚でした。10年もブランクがあったことから何をすればいいのか分からず、大変だったことを記憶しています。緊張の連続で、就任４年後、胃がんを発症しました。しかし、大病をきっかけに気持ちに踏ん切りがつき、たいていのことに対しては「この程度のことなら」と軽く考えられるようになりました。社内では、女性ならではの特性を生かし、従業員に対し気遣いを欠かさないようにしました。賃貸管理業ということもあって、空室をなくすことを全社の目標に掲げ、つい先日達成し、皆に大入り袋を手渡しました。当然、社員は喜びましたし次の仕事への動機付けにもなったように感じました。ほかにも、他社よりも給料（時給）を高めに設定し、休まなかった人には皆勤賞を付与するなど、やる気度をアップするようにしています。そういったトップの気遣いこそが経営がうまくいき社員が満足して働ける環境を構築できるのだと思います。

全商女性連は経営者の悩み共有の場

２年前に全国商工会議所女性会連合会（全商女性連）の会長に就任しました。全商女性連は、1969年に発足し今では全国416女性会、２万2,000人を超える会員を有する女性経営者団体です。女性経営者の集まりということもあって、それぞれにしっかりした意見を持っていることから取りまとめていくことが重要となります。この組織は皆が手弁当でさまざまな女性会の行事などを作りあげています。政策提言やビジネス向けの研修会、社会貢献、女性活躍推進に向けた施策展開などの活動をそれぞれが行っていますが、皆さん一生懸命に取り組んでいますし、私自身も気付くことが多いと感じています。そして何より、女性経営者と知り合えたこと、そして経営者として悩みを共有できたことは企業経営をする上で良い機会だと思っています。経営者は社員からの「言われ役」「聞き役」であって、対等に相談することは難しいです。だからこそ、共有できる場があることは大切だと思うのです。

男女の特長・特性を生かして

今、政府をはじめ企業やさまざまな場面で、女性活躍に向かって話し合いが重ねられています。しかし、たいていの場合、そのテーブルに男性しかいない場合が多いのも現実です。

インド商工会議所連合会女性会と全国商工会議所女性会連合会との懇談会（2017.9.6）

それでは、女性本来の素晴らしい能力を発揮することは難しいのではないでしょうか。男性と女性が同じかと言われれば、違います。例えば、女性が重い物をもつことは体力的に難しいと思います。しかし、細かい気遣いやコミュニケーション能力、真面目さ優秀さにおいては女性の方が秀でるという意見が多いです。だからこそ、女性と男性それぞれの特長・特性を生かして仕事をするステージを設けることが重要だと思います。その際に、組織としてはお互いに認めあった上で、同じテーブルで話し合い、個性を尊重しあえばよいのではないでしょうか。そうすることで、生産性が向上し企業にとっても個人にとってもメリットになりますし、女性の個性を生かすことで政府の掲げる女性が輝けるステージが用意されると思います。

全国商工会議所女性会連合会　創立50周年記念式典・第50回岩手総会（2018.10.3）

自分を磨きアンテナ高く

ただし、女性自身も自分を磨き、人の話に耳を傾ける努力を怠ってはいけません。常にアンテナを高くはって情報をキャッチし実力をもって仕事をしてほしいと思います。働きたくない、リーダーになりたくない、責任を取りたくないなどと言う女性もいますが、頑張って社会で活躍しようと考えている女性が増えている以上、気持ちを切り替えて、仕事に臨むとともに、頑張っている女性の足かせとならないように努力してほしいと思います。いまだに男性は、女性１人が行動したことに対して、「やはり女性は…」と一括りにする傾向があります。そうならないためにも、皆で意識を変えていく努力は必要でしょう。

また、男性も女性の素晴らしさに気付く時です。女性活躍は、男性も女性も意識改革が最重要課題となります。双方が、仕事に対してどのように取り組めばよいのか、しっかり考える必要があります。そこには男女差別はありません。あくまでも、その人が持っている良い個性を引き出してあげるだけでよいと思います。女性活躍の機運が最高レベルまで達している今こそ、意識を変える時だと思います。

内閣府ら主導の理工チャレンジ　250人が来場！

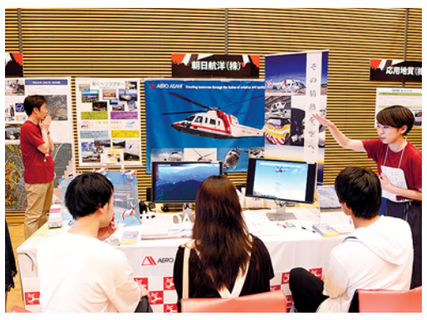
理工チャレンジにことしも参加

女子の理工系進学を後押しする取り組み「理工チャレンジ（リコチャレ）」。その一環として日本経済団体連合会、内閣府、文部科学省が主催する「夏のリコチャレ2018」に、日刊建設通信新聞社が日本大学理工学部と一緒にことしも参加しました。

「わたしの住むまちをデザインする仕事」と題したイベントに産学官31者が参加、約250人が来場しました。

「暮らし編」では冷暖房などの設備や道路、トンネルなど日常生活に密接にかかわっている技術を紹介。

また、「巨大災害編」では防災・減災、災害時対応の技術などを紹介、来場者は直接触れ、専門家の声を聞く、またとないチャンスとなりました。



内閣府の理工系女子応援ＮＷ会議

内閣府は10月19日に第３回理工系女子応援ネットワーク会議を開き、39団体43人が参加しました。同会議は女子学生等が理工系分野への進路選択を促進する「理工チャレンジ」の趣旨に賛同し、さまざまな取り組みを行っている理工系女子応援ネットワークの参加団体で情報交換を行い先進的な取り組み事例を共有し、さらに訴求力のある企画・イベントにつなげるのが狙いとなっています。

2018年の大学の理工系学部の女子学生の占める割合は、理学系が27.8%、工学系15.0%、また研究者の採用に占める割合は理学系で15.6%、工学系10.3%と低くなっています。

しかし、科学技術・学術活動を活性化するためには女性研究者・技術者の活躍を促進し、多様な視点や発想を取り入れることが不可欠となっています。また、建設産業界の担い手確保の点からも理工系への進路選択を促進させることは喫緊の課題となっています。

建設産業界が一体となった日刊建設通信新聞社主催のイベントは、業界を知ってもらい興味を持ち、いずれ入職を希望する女性が１人でも多くなることを願い開催しています。

連絡先はこちら→
■お問い合わせ
株式会社日刊建設通信新聞社　カナリヤ通信編集部
TEL03-3259-8711　FAX03-3259-8730
■ご意見・ご感想は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。
「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。
webで公開中

理工系分野での女性活躍推進

内閣府男女共同参画局長　**池永 肇恵**

「カナリヤ通信」が創刊3周年を迎えることに、心よりお祝い申し上げます。「建設産業界における女性（男性）の働き方について考え・気づく紙面」を掲げ、妊娠・出産やメンタルヘルス、介護制度など幅広いテーマを取り上げるとともに、多くの女性たちの率直な声を掲載し、建設産業界における女性活躍に寄与してこられたことに対し深く敬意を表します。

AIやIoTなどのイノベーションが急速に進む中で、生産性を向上させ、持続的な成長を実現するためには、男女を問わずイノベーションを支える多様な視点や発想を持つ人材の活躍が期待されています。特に、理工系分野には、建設業をはじめとする多くの将来性と働きがいのある職種があり、理工系人材の需要は年々高まっています。

内閣府では、理工系女性人材の育成に向けて、女子中高生の理工系分野への進路選択を促進する「理工チャレンジ（リコチャレ！）」事業を進めているところです。中でも、夏休み期間に主に女子中高生等を対象として実施する「夏のリコチャレ」については、建設産業界においても、産学官が一堂に会するイベント「わたしの住むまちをデザインする仕事」を開催いただくなど、理工系女性人材の育成の裾野を広げる取り組みに御協力いただいています。さらに、内閣府では、本年6月から、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する機運の醸成を目的として、多様なロールモデルとなる「STEM Girls Ambassadors（理工系女子応援大使）」の取り組みを開始したところであり、土木分野の技術者として国際的に活躍する女性にもアンバサダーとして活動いただいています。

建設産業界においても、女性の就業者数は年々増え続け活躍の場が広がっています。女性が増えることで、職場環境も着実に変わっていくことでしょう。女性が働きやすい職場は男性も働きやすい職場です。女性の活躍が進むことで、男女がともに働きやすくより生産性の高い職場が広がっていくことを期待しています。

女性が活躍できる職場目指す

厚生労働省審議官（雇用環境・均等、子ども家庭、少子化対策担当）　**本多 則恵**

皆様には、平素より厚生労働行政に対し、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

女性の活躍推進については、2016年度に全面施行された女性活躍推進法で、301人以上の大企業に対し、自社の女性の活躍の状況を踏まえて設定した目標の達成に向けた行動計画の策定や女性の活躍に関する情報の公表等を求めており、ほぼすべての大企業で実施していただいています。

上記取り組みが努力義務である中小企業に対しては、電話相談、個別訪問を実施するほか、行動計画の「取組目標」を達成した場合等に助成金を支給することにより、行動計画の策定等の支援を行っています。

また、厚生労働省では、学生等の求職者に企業の女性活躍に関する情報を見ていただけるよう、スマートフォンからでも閲覧できる「女性の活躍推進企業データベース」を運営しています。同法に基づく情報の公表をなさる際は、ぜひご活用ください。

女性の活躍推進に関する状況が優良な事業主は、厚生労働大臣の「えるぼし」認定を取得することができ、9月末現在では698社が認定を受けています。また、従業員の仕事と育児の両立支援に取り組む事業主は、次世代育成支援対策法に基づく「くるみん」認定を取得することができます。これらの認定を受けることにより、優秀な人材の確保につながるPR効果が期待されるほか、国や地方公共団体が実施する総合評価落札方式等による公共調達において加点評価されるといったメリットもあり、厚生労働省としては、今後も認定企業が広まるよう取り組みを進めてまいります。

ワーク・ライフ・バランスの取り組みを積極的に行っている企業等に対する、総合評価落札方式での加点評価や、入札参加資格審査時の加点評価など公契約上の配慮を行っている地方公共団体もあります。これらをご活用いただき、女性総合職の採用拡大や職域拡大、女性社員に対する研修の実施、女性管理職登用の促進、長時間労働の是正等女性活躍や働きやすい職場整備に継続的に取り組んでいただいている企業があり、9月末現在では22社の建設業の企業が「えるぼし」認定を取得しています。

今年の通常国会では、時間外労働の上限規制等を内容とする働き方改革関連法案が成立しました。これまで建設業は、時間外労働の限度基準に関して、大臣告示による指導の適用除外となっていましたが、本法案の成立により、2024年4月1日から罰則付きの時間外労働の限度が適用されることとなります〈ただし、当分の間、災害時における復旧および復興の事業に限り、単月100時間未満（休日労働を含む）、複数月平均80時間（休日労働を含む）の規制は適用しない〉。

建設業界において、女性の就業環境を悪化させる妊娠・出産等に関する不利益取り扱いや、セクハラ・いわゆるマタハラのない職場づくりを目指していただき、女性の能力が十分に発揮される職場環境の整備がより一層進むよう、引き続き取り組んでいただきますようお願いします。

詳細は、中小企業への支援事業は「中小企業のための女性活躍推進サポートサイト」を、助成金等は厚生労働省ホームページの女性活躍推進法特集ページをご覧いただくか、各都道府県労働局の雇用環境・均等部（室）にお問い合わせください。

「建設産業女性活躍推進ネットワーク」を創設

取組みを集約、協会・団体レベルで拡大・加速

国土交通省と建設業振興基金は、建設産業界の女性活躍に取り組む団体で構成する「建設産業女性活躍推進ネットワーク」を創設した。取り組みを網羅的に集約するとともに女性活躍推進のネットワークを協会・団体レベルで拡大・加速させることで、女性の入職・定職の促進を図るのが目的。12月18日午後2時から東京都中央区の「CONFERENCE BRANCH 銀座」でキックオフミーティングを開く。

同ネットワークは、協会・団体相互が情報共有することで好事例を水平展開するとともに、情報交換や相互交流、連携を図ることが狙い。また、女性活躍ネットワークの活動内容について、同基金ホームページ「建設産業で働く女性がカッコイイ（http://genba-go.jp/content_category/know/woman/）」に集約し広く発信することで業界全体としての女性活躍推進を支援する枠組みも構築する。現在、25団体が登録しているが、随時参加団体を募集している。

国交省、振興基金

キックオフミーティングでは、国交省と厚生労働省が行っている女性活躍推進事業の紹介や、団体の取り組み事例、「建設産業における女性の活躍推進を加速化するためには」と題してグループワーク・意見交換が行われる予定だ。

問い合わせは、同基金・電話03－5473－4572。

参加団体は次のとおり。

〈全国〉日本建設業連合会けんせつ小町委員会▽土木技術者女性の会▽建築設備六団体協議会設備女子支援ネットワーク▽日本建築仕上学会女性ネットワークの会▽日本造園建設業協会女性活躍推進部会▽建設物価調査会チームひまわり▽日本溶接協会溶接女子会▽測量・地理空間情報女性の技術力向上委員会「ソクジョの会」▽日本積算協会積女ASSAL委員会

〈地域〉北海道ブリリアント会▽あおもり女性建設技術者ネットワーク会議▽いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会▽福島県建設業協会ふくしま建女会▽全国低層住宅労務安全協議会じゅうたく小町部会▽山梨県建設業協会青年部会けんせつ小町甲斐▽長野県建設業協会女性部会▽にいがた土木女子会議▽新潟県建設業協会女性部会▽しまね建設産業イメージアップ女子会▽なでしこBC連携▽愛媛県建設業協会女性部会▽やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク▽けんちくけんせつ女学校▽ながさき建設女子ネットワークよりより▽熊本県建設産業団体連合会くまもと建麗会

働き続けるためにエール

ソクジョの会がシンポジウム

日本測量協会測量・地理空間情報　女性の技術力向上委員会（ソクジョの会）は16日、G空間EXPO2018で「女性技術者として働き続けるために～女性技術者へのエール」と題してシンポジウムを開催した。

冒頭、杉森純子ソクジョの会委員長（朝日航洋）は「測量業界で『働きたい』『続けたい』『戻りたい』女性たちを技術面でサポートするために委員会を発足した。発足4年目を迎えてようやく念願の他業界の女性の会とのシンポが実現したので、それぞれの業界がどのように困難を乗り越えたのか聞き働き続けるヒントにしてほしい」と語った。

土木技術者女性の会運営委員（鹿島）の須田久美子氏が「女性技術者として働き続けるために」と題して基調講演した。須田氏は入社当時、研究所配属となり思いどおりにいかなかったものの、2人の子育てを経て入社約20年後に念願かなって設計や現場配属になり、いままでの研究成果や女性の視点も取り入れながら仕事ができたことを紹介。「土木技術者に男性・女性もなく、1人の人間として未熟であり、男性と女性の技術者の両方がいて当たり前」とし、「キャリアとプライベートを大事にすることで現場に役立つ人材として成長していく」と語った。

次いで、須田氏と土木技術者女性の会（日特建設）の藤代祥子氏、建築設備技術者協会設備女子会（日建設計）の宮坂裕美子氏、建設コンサルタンツ協会関東支部女性の会WG（日本工営）の森原百合氏、司会としてソクジョの会（パスコ）の二木あさ子氏の5者でパネルディスカッションを行った。それぞれの団体や会社での業務内容を紹介した後、藤代氏は第一子出産を控えていることを踏まえて「仕事が好きなので、子育てをしながら周りに感謝しつつやりがいを感じがんばっていきたい」と話した。宮坂氏は2人の子育て経験を踏まえながら「自分でなくてもできることはアウトソーシングするべき。掃除を業者委託するなどお金で解決することで仕事に集中できる」とし、森原氏は「いま会社がサテライトや在宅勤務など変わろうとしている。防災や街づくりなどソフト面で女性の力が発揮できるからこそ、どんどん飛び込んできてほしい」と語った。

須田氏は、「労働基準法で女性の働き方に制限がかかっている部分もあるので、女性のネットワークで国に働きかけて法律を変えていく必要がある」と訴え、二木氏は「各業界が協力して働き続けられる環境ができればよいと思う」と締めくくった。

ソクジョcafeも開催

ソクジョの会は、ソクジョcafeも開催、測量業界で働く女性が集い、リラックスムードの中、仕事に対する意気込みや不安、悩みなど情報交換した。

東海工業専門学校金山校

学びの場からイメージ改善

本校は建築設計、建築設備、建築施工、大工、インテリア、土木、測量分野を設置している建設の総合カレッジです。1961年（昭和36年）設立以来、建設業界で必要な国家資格取得と社会人に必要な人間力の教育に力を入れています。特に資格取得については、2級建築士の合格率は全国トップクラス。土木・測量系では「測量に関する専門の養成施設認定校」のため、卒業と同時に測量士（全国で2校のみ）と測量士補を無試験で取得できる学科をそれぞれ設置しています。近年、建設業界では女性の活躍が注目されており、本校でも女子学生が業界でさらに活躍できるようスーツの着こなし講座、メイクアップ講座など女子力の向上にも力を入れています。また、校内設備では更衣室やシャワールームも完備し、学びの場から業界のイメージを改善していきたいと考えています。

建設業界は日本の産業に欠かせない重要な仕事でもあり、やりがいのある仕事です。18歳人口が減少している中、中高生に業界の魅力を伝えられるよう、日々まい進しています。

わが校の特色

日本工学院八王子専門学校

科目履修・資格取得で夢実現

時代の変化や産業界が求めるスキルをカリキュラムへ反映し、下記3学科は「職業実践専門課程」（文部科学大臣認定）の認定を受けております。ICT分野に強い、先端的な「モノ」「コト」を生みだせる人材育成に産学連携や総合学園だからできる学内横断プロジェクトを通して、「人間力」と「専門力」が高まり、就職・進学（大学編入・大学院）も好調です。

建築学科〈4年制／高度専門士と学士（放送大学）学位取得可〉は、BIM（Building Information Modeling）を学べる教育カリキュラムをいち早く構築し、即戦力を育成しております。3Dプリンターを活用しての模型制作など新たな「ものづくり」に取り組んでいます。

建築設計科（2年制）は、卒業と同時に2級建築士の受験資格が得られ、建築学科の3年次に編入学をして、毎年多くの2級建築士が在学中に誕生します。

土木・造園科（2年制）は、広大なキャンパス内にドローン測量、竹垣や庭園制作、歩道新設施工、さらには産学連携特別講義シリーズ「土木技術者の道」に取り組んでいます。

一般社団法人 日本建設業連合会　会長 山内隆司　東京都中央区八丁堀二－一－五（東京建設会館八階）　〒一〇四－〇〇三三　電話（〇三）三五五三－〇七〇一

一般財団法人 建設業振興基金　理事長 佐々木基　東京都港区虎ノ門四－二－一二（虎ノ門四丁目MTビル二号館）　〒一〇五－〇〇〇一　電話（〇三）五四七三－四五七〇　FAX（〇三）五四七三－一五九四

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会　会長 村田和夫　東京都千代田区三番町一（KY三番町ビル）　〒一〇二－〇〇七五　電話（〇三）三二三九－七九九二（代）　FAX（〇三）三二三九－一八六九

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会関東支部　支部長 高野登　東京都千代田区内神田二－一七－一〇（松楠ビル）　〒一〇一－〇〇四七　電話（〇三）五二九七－五九五一　FAX（〇三）五二九七－五九五二

一般社団法人 建設産業専門団体連合会　会長 才賀清二郎　東京都港区虎ノ門四－二－一二（虎ノ門四丁目MTビル二号館）　〒一〇五－〇〇〇一　電話（〇三）五四二五－六八〇五　FAX（〇三）五四二五－六八〇六

一般社団法人 建築設備技術者協会　会長 野部達夫　東京都港区新橋六－九－六（一二東洋海事ビル七階）　〒一〇五－〇〇〇四　電話（〇三）五四〇八－一〇〇六三　ホームページ http://www.jabnee.or.jp

一般社団法人 日本計装工業会　会長 生駒昌夫　東京都港区虎ノ門二－八－一（虎の門電気ビル）　〒一〇五－〇〇〇一　電話（〇三）三五八〇－八九二一

一般社団法人 日本グラウト協会　会長 中森保　東京都文京区後楽一－一－二（春日ビル九階）　〒一一二－〇〇〇四　電話（〇三）三八一六－二六八一～二　FAX（〇三）三八一六－三五八八

一般社団法人 日本電設工業協会　会長 後藤清　東京都港区元赤坂一－七－八　〒一〇七－八三八一　電話（〇三）五四一三－二一六二（代）

一般社団法人 東京電業協会　会長 江川健太郎　東京都港区元赤坂一－七－八　〒一〇七－〇〇五一　電話（〇三）三四〇三－五一八二（代）

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会　会長 長谷川勉　東京都中央区新富二－二－七（空衛会館三階）　〒一〇四－〇〇四一　電話（〇三）三五五三－六四三二（代）

一般社団法人 東京空調衛生工業会　会長 黒田英彦　東京都中央区新富二－二－七（空衛会館）　〒一〇四－〇〇四一　電話（〇三）三五五三－六七一一

日本建設産業職員労働組合協議会　議長 久保田俊平　東京都新宿区高田馬場一－三－一－一六（守山ビル）　〒一六九－〇〇七五　電話（〇三）五二八五－三八七〇　FAX（〇三）五二八五－三八七九　日建協ホームページ http://nikkenkyo.jp/

失敗こそが新たな経験、チャンス

女性リーダー育成へロールモデル紹介

社会の実情に合わせ変革していく

女性のリーダー（管理職・役員）は少しずつ増えてはいるものの、男性との比率でみるとまだわずかです。今回は、企業の経営に携わる日本たばこ産業常勤監査役の永田亮子さんと日本濾水機工業社長の橋本美奈子氏に話を聞くとともに企業で管理職として働く女性たちの声を聞きました。

＊　＊

1987年に入社しました。雇用機会均等法から2年目、日本専売公社から民営化して3年目の年でした。当時は女性がいなくて、社員比率は1割程度。そのほとんどがたばこ生産工場に配属されていました。そのような中、私は総合職として、たばこや医薬、人事、食品、飲料、CSRなどさまざまな部門を経験しました。企業規模が大きいため社内転職のような感じです。

男女の意識なく働く環境

民間企業になって、M&Aなどグローバル化の波が社内に押し寄せ、早い段階から多様性や女性活躍の考え方が浸透していきました。経営陣も個人の意識や意見を尊重してくれていたので、女性だから男性だからといった意識はあまりありませんでした。

日本たばこ産業株式会社常勤監査役

永田　亮子さん

2013年にアベノミクスの施策の1つとなる女性活躍の波によって、社内に多様化推進室が創設され、子育て中の人に対しては時短やさまざまな保育料の補助、ベビーシッター利用料補助などのメニューを取りそろえ働き続けやすい環境を整備しています。当社では20歳代と30歳代の女性比率が徐々に高くなっており事務系新卒が3－4割になっているのは、女性も就職したい企業になってきているのだと思います。また、出産を経て復帰する人はほぼ100％となっており辞めるという選択肢はなくなってきているようです。

ただし、女性が活躍するためには、もっと男性の意識も変えていく必要があります。子どもが生まれたら育休を取得する、管理職や役員クラスに対しても積極的に研修をしていく必要があります。現在、イクボス研修なども積極的に行っています。

私は、異動によって配属先がいろいろと変わりましたが、そのポジションごとに全力投球してきました。部署が変わることで新しいことに飛び込んでいって、そこで楽しむこと、そして、山を乗り越えビジョン（絵）が描けるようになった時、今までの苦労が喜びに変わる瞬間でもあります。初めてだからこそ知り得ることがある楽しみを毎回経験しているのです。私自身、組織に入って32年目になりますが、楽しく仕事をしている間に、いつの間にか役員になっていた、といった感じです。執行役員に就任したのが2008年、現職はことしになってからです。

ライフイベントと両立

女性の皆さんには、例えその時、大変でも働き続けてほしいと考えています。育児や介護などさまざまなライフイベントがあり思い悩むこともありますが、辞めずに乗り切ってほしいです。再雇用などで戻ってくる女性と話しをすると、「辞めなければよかった」と言います。辞めることによって当然のことながらブランクができてしまい、復職しても実践復帰までには時間がかかります。育児や介護は国や企業サイドの制度が年々充実していますので、うまく活用して乗り切ってほしいです。私も、父を在宅介護しました。終わりが見えない状態で不安もありましたが、仕事を続けながら両立することができました。

健康維持と自分像を描く

私たちが働く上で重要なことが2つあります。1つ目は心身の健康維持です。体を壊しても誰も助けてはくれませんので、自分でしっかり管理する必要があります。2つ目は、なりたい自分を描くことです。自分像が時間の経過とともに変化しても構いません。とにかく将来を臨機応変に見据えて、いいおばあさんになって、いい人生だったと思えればいいと思います。だからといって肩肘を張る必要はありません。

いま、ワーク・ライフ・バランスといわれていますが、私は一生の間にバランスをとればよいと思います。20歳代は体力もあって元気ですから少しくらいがむしゃらに仕事に取り組めばよいと思います。歳をとってきたら体力はなくなってきますが経験は豊富になりますから、がつがつではなくじっくり経験を生かしながら仕事に取り組んでいけばいいと思います。そして、人生、失敗を恐れないこと。失敗こそが新たな経験になりチャンスになると私は信じています。

経営に興味、社長に就任

2006年に父が倒れ、後継者がいないという事実に直面しました。このまま会社を譲渡するのは、社員にとっても一大事になるため、私が継ぐ決断をしました。当社は100年続く注射用水などの独自技術を持つ企業で、引き継がないわけにはいかないし、経営に興味があったことからチャンスととらえ積極的に社長になりました。そもそも私は長年、公認会計士として大手監査法人に勤務していましたし、経済産業省にも出向するなど畑の違う道を歩んできました。

公認会計士という仕事は、資格の社会なので男女平等が当然となっています。入社1年目でも重い荷物を持たされるなど、女性だからといった配慮は全くありませんでした。そのため、私自身も女性だからという意識はまったくありません。それに、社長就任に当たって「日本に430万の企業があって、それぞれ社長がいるのだから私にできないわけがない」「社長をやってみたい」といった気持ちが強くありました。

面談で社員の意見を聞く

当社は資金繰りとしてはあまり心配のない企業ですので、社長として上げるようにしています。2年前に100周年企画実行委員会を立ち上げ、社内で委員を公募しました。普段やっていない仕事に対してアイデアを出す訓練や企画実行に向けた動きに対して取り組んだ結果、委員の中には今までになかった自信を身につけた人がいたことは、私の中で喜びとなっています。

日本濾水機工業株式会社代表取締役社長

橋本　美奈子さん

考えていかなければいけないのは「人材の活用」となります。私と同年代の管理職が多い中、社員からいろいろといわれることがありましたが、聞き役に徹しました。私だといいやすくて、いままで出しづらかった提案や疑問が少しずつですが解消できるようになってきているようです。そういったことから、全社員を対象に年に1回、面談を行うことにしました。個々人の意見に耳を傾け、解決できること、受け入れることができないことに分け、できることは社員と一緒になって解決していきました。その一環として取り組んだのが品質管理体制の確保であり、ことし2月にISO9001を取得しました。また、モチベーションがある人、仕事に対して積極的な人は持ちがある人には見合った研修を行い、また、ライフイベントがあっても継続的に勤められるように企業も努力しなくてはいけません。

女性就労支援で社会貢献

企業であるからには地域貢献が必要です。貢献には寄付という手段もありますが、雇用が最も大切だと考えています。その1つとして、女性の就労があります。女性は、どうしても時間の制約がありますので、社内の仕組みや制度をつくり直さなければなりません。例えば、営業や技術職は長期の出張が多くあり、本社に戻ってくる期間はわずかという社員もいます。しかし、それでは仕事を続けるのが難しくなりますし、男性も定着しにくいと思います。懸案である長期の出張については、長くても1週間単位で交代する、そのために皆で仕事を共有する仕組みづくりなど業務改革が必要になります。

女性は、自信がない人が多いと思います。特に子育てなどで仕事を離れた人はコピー機の取り扱い1つとっても難しさを感じます。ブランクがある人には見合った研修を行い、また、ライフイベントがあっても継続的に勤められるように企業も努力しなくてはいけません。

自分の強み、資質生かす

組織は自己実現できる場でもあります。そのためには、自分がどうなりたいのかわかっていないといけません。自分の強みや資質に気付き生かしていくことが必要です。当社では、ストレングスファインダー®＊という才能診断を行っています。診断によってトップファイブの資質が導き出されるので、社員は強みを自覚することで自分自身を知り、自己実現を可能にしていきます。そうすることで、会社にとっても社員によってもよりよい環境が構築されると考えています。

私には5歳の娘がいます。子どもがいるからこそわかる部分が多くあることに気付かされる毎日です。今後は、長年続いたこの会社をどのように社会の実情にあわせて変革していくかが私の仕事となります。歴史が長く社風ができあがっているので、社員の考え方を変えるのは難しい。しかし、働き方改革も含めて課題はありますので、社員とともに取り組んでいきたいと思います。

＊ストレングスファインダー®：米国ギャラップ社の開発したオンライン「才能診断」ツール。診断によって自分の才能（＝強みの元）が導き出される。

女性リーダー（管理職・役員）　私はリーダーとして○△×に取り組んでいます！

新菱冷熱工業経営企画部次長
兼ＣＳＲ推進室長　佐川 美佳

夢・ビジョン・目標を示す

設備工事業である当社に勤めて26年。入社当時は研究職でしたが、現在は経営企画とＣＳＲ推進の業務に従事しています。多様な仕事に触れ、その難しさと面白さを感じる日々です。これまで、研究グループリーダーや管理職を務める中で、目標を示すことの重要性を感じてきました。目標は、ともに働くメンバーと信頼感をもって進み、困難があっても乗り越えられる力になると考えています。ずっと以前、上司から「キラリと光る存在になれ」と言われたことがありますが、この言葉を反芻（すう）すると、今の私の仕事は、ともに働くメンバーやチームをキラリと輝かせるために、夢・ビジョン・目標を示すことだと思い、これを大事にしています。

清水建設コーポレート企画室副室長
兼ＳＤＧｓ・ＥＳＧ推進部長　金子 美香

課題満載も部員と一緒に創る

気候変動や環境汚染、人権侵害など、世の中の社会問題を解決して持続可能な社会の実現に貢献することは、企業の使命の１つです。ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組み、ＥＳＧ（環境、社会、ガバナンス）に配慮した企業活動は企業価値の向上にもつながります。私がリーダーを務めるＳＤＧｓ・ＥＳＧ推進部は、ＳＤＧｓとＥＳＧに関連した取り組みを推進する部署として、ことし４月に設立されました。ＳＤＧｓの理念を社員に浸透させること、経営に統合すること、取り組みを社外に向けて効果的に発信することなど課題は満載です。一方で、すべてが新しい取り組みであり、部員と一緒に自分たちの手で創っていくという楽しさ、やりがいも感じています。

建設技術研究所九州支社
地圏環境室次長　三谷 由加里

達成感を感じられる働き方を

管理職という立場になって、仕事に対する視点を生産から管理へ変えていかざるを得なくなりました。自分の判断が反映されやすくなった一方で責任も重くなりましたが、少し見方が広がった気がして楽しくもあります。今までいかに自由に仕事をさせてもらっていたかを痛感しています。現場で一生懸命仕事をしている後輩たちを見るととても頼もしく感じます。若い人たちには、仕事のやりすぎは絶対ダメだけど、たまには時間を気にせずに考えることに没頭したり夢中になったりして仕事の達成感を感じられる働き方をしてほしいと思います。そういった仕事の楽しみを与えてあげられるように、自由な働き方の枠組みをつくっていけたら良いなと考えています。

建設技術研究所管理本部人事部
ダイバーシティ推進室長　瀬尾 弘美

活躍できる会社を目指し日々奮闘

建設技術研究所に新卒で入社し、技術部で23年勤務した後に本社の管理系の部署に管理職として異動しました。現在では、全社およびグループ会社のダイバーシティ推進を担当しています。女性社員はもちろん、多様な社員がいきいきと活躍できる会社を目指して日々奮闘しています。ダイバーシティ推進には、自分とは違う人を理解しようとすること、そのためにはコミュニケーションを大切にすることが必要だと考えています。いろいろな社員と日々話をすることは今の仕事の楽しみにもなっています。

オリエンタルコンサルタンツ中部支店
総合計画部担当次長　浅井 広巳

メンバーの前向きな取組サポート

私は、人の「得意なこと」や「興味があること」を見つけるのが好きです。発見した時は自分も、たぶん相手も嬉しい。得意なことは「自信」に、興味のあることは一緒に考えチャレンジすることで大きな「成長」につながります。同時に「誰かにとって大切な人」たちと仕事をしていることを常に意識したいと思っています。例えば未来を担う子どもの親の場合、仕事と子育てという重要な仕事を同時にこなしますが、どちらに対しても負い目や後悔を感じてほしくありません。得意や興味をベースに目的をもって仕事を楽しみ、家族との時間も同じように楽しんでほしいのです。私はリーダーとして、メンバーの前向きな取り組みのサポートに取り組んでいます。

アジア航測事業戦略部
プロポーザル戦略室長　小汐 真由美

仕事の中に楽しみ見つける

職員の皆さんに個性を生かして仕事をしてもらえる職場づくりを目指しています。性別・職歴・嗜好・家庭環境など千差万別で、だからこその強みにもなりますし、チームもつくれる。これからも職員の「こうありたい」という思いを実現できる環境づくり、多様性を生かした職場づくりに取り組んでいきます。そしてもう１つ、チームの皆さんにお願いしているのは、「仕事の中で楽しみを見つける」ことです。業務を通して「自然の美しさに感動する」「達成感を得る」といったことから、出張先で「新しい景色を見る」「美味しいものを見つける」といったことまで、何でも良いのです。高揚感を体感して欲しい。ちょっとした幸せ（もちろんすごい幸せでも良いのですが）の積み重ねでモチベーションを向上させることができると思っています。

安井建築設計事務所設計部主幹
高田 和子

他者と自分、バランス感覚大切に

「立場が人をつくるというし、まずはチャレンジしてみたら」と上司に背中を押してもらい、チームをマネジメントする立場になって２年。周囲の支えを受けながらも、子どもの成長とともに仕事と家庭、諸々のマネジメントはしやすくなったように感じます。精神的、体力的に追い込まれることも間々ありますが、感情面でネガティブにならないよう、休日はできるだけ体を動かすことを意識。ここ数年は落語を聞くことも増えました。「～として～すべき」という記事やリーダー論・仕事論は数多くありますが、他人の成功話を真似ても上手くいくとは限りません。他者に学びつつも「よそはよそ、うちはうち」と割り切るバランス感覚を大切にしたいと思います。

日立建設設計設計統括本部設計本部
第一設計部主任　管野 明日美

時間外労働を減らす努力

設計事務所といえば、〝残業や休日業務が当たり前！〟だと世間的に考えられている中で、入社してから数年を過ごしてきました。しかし〝働き方改革〟に注目度が集まってきたと同時に、後輩を指導しながらプロジェクトを進めることが求められました。私自身が若手のころにいってきた業務のやり方ではいけないと気持ちを新たにし、定時内で効率的に業務を行うことを後輩と意識し、むだな作業は発生していないかを確認し合い、時間外労働を減らす努力をしています。入社２年目の後輩は入社以来、休日出勤ゼロです。このことで私自身は確保できた時間を習い事（茶道）に使い、季節感ある非日常空間で職種や世代を超えたネットワーク形成や自己啓発を行い、仕事と生活を充実させています。

パシフィックコンサルタンツ社会イノベーション事業本部環境・エネルギー部長　梶井 公美子

大変さに見合ったやりがい、面白さ

私は現在、総合建設コンサルタント会社で環境・エネルギー部門の部長を務めています。従業員約90人、加えて地方支社の環境・エネルギー分野も管轄範囲として、日々組織のマネジメントと技術の現場の管理・指導に取り組んでいます。部長職になってみると、それまでの立ち位置では知り得なかった仕事の奥深さや人間関係の妙味があり、まさに「違う風景が見える」ことを実感しますし、それが確実に自分の人生を豊かにしてくれています。私はおそらく人一倍技術者としての仕事が好きなタチですが、組織のマネジメントも１ＪＯＢとして捉えれば非常に興味深い対象です。大変さに見合うだけのやり甲斐・面白さがあります。ぜひ、多くの女性にこの醍醐味を味わっていただきたいと願っています。

土木技術者女性の会会長　渡辺 弘子

能力、適性を見極め引き出す

「量から質へ」に取り組んでいます。「量」とは、女性をはじめ多様な人材の採用数のことです。男女雇用機会均等法施行から30数年、女性の採用数は着実に増えました。建設業界における全体数はまだ少ないものの「量」の懸念は払拭されていくでしょう。「質」とは採用した人材に対する待遇のことです。仕事を与えられる機会、研さんや昇進の機会、給与体制等に男女差が残る組織もあります。現在、私は技術士事務所代表のほか、大学の非常勤講師、技術アドバイザー、企業の技術顧問、法人の理事等を務めています。個人の能力や適性を見極めたり引き出したりすることに努め、リーダーとして「質」を向上させる環境をつくっていきたいと思います。

長大 社会事業本部まちづくり事業部
ＰＰＰ推進１部課長　今井 母土子

若手が自分らしく働ける環境築く

私は女性活躍促進にかかわる研修・啓発プロジェクトである７Ｃ（ナナシー）プロジェクトに取り組んでいます。７Ｃプロジェクトは、女性社員が「自分らしく働く」ためのヒントを見つけることを目指し、20歳代、30歳代の若手リーダーを中心に企画・運営しています。予測不可能な社会の中で若手社員が活躍するために何ができるのか考えることが、難しくもあり面白くもあります。若手女性社員が成長する姿を目の当たりにし、個人の力を引き出すには活躍の場を与えることが大切と考えます。普段の業務でも、管理職として、男女問わず個人の個性や魅力を生かし、若手社員が、自分らしく自信を持って働ける環境を築いていくことにやりがいを感じています。

竹中土木東京本店工事部
土壌環境グループ課長　大西 絢子

老若男女が気持ちよく支えあう

私は、自分が妊娠、出産、子育てをする中で、１人ですべての仕事を抱えることはできないことを痛感しました。以前は、１人が複数のプロジェクトを担当する体制だったため、他のメンバーはその内容を把握できない状況にありました。もし自分が突然倒れたら…、もし子どもが急に病気になったら…など、自分１人では、あるプロジェクトを実施することが困難であったことをきっかけに、複数人でプロジェクトを実施するチームスタイルに変更してもらいました。今は、チームのリーダーとして、時間的な制約、技術的な能力や業務上の条件など、一長一短のある老若男女が、気持ちよくお互いを支えあうことができるような職場環境づくりに励んでいます。

Kisojiban　基礎地盤コンサルタンツ株式会社
代表取締役社長　岩﨑公俊
東京都江東区亀戸1-5-7　錦糸町プライムタワー12F
地盤で社会に貢献します！　TEL（03）6861-8800　http://www.kiso.co.jp

総合的な知的サービスにより
世界の人々の安全で豊かな暮らしを創造するACKグループ
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
ORICONSUL
ISO全社統一 9001 MSA-QS-2 14001 MSA-ES-4
代表取締役社長　野崎秀則
〒151-0071　東京都渋谷区本町３－１２－１ 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL(03)6311－7551　FAX(03)6311－8011
http://www.oriconsul.com

地球の話をしよう。
OYO 応用地質株式会社
代表取締役社長　成田　賢
〒101-8486　東京都千代田区神田美土代町7番地
電話(03)5577－4501(代表)

未来を拓け
Growth to the next Stage
http://www.ajiko.co.jp
アジア航測株式会社　e-mail:service@ajiko.co.jp
新宿本店：東京都新宿区西新宿 6-14-1　新百合本社：神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-2-2

think
NIHON SEKKEI
株式会社 日本設計　代表取締役社長　千鳥義典
〒163-0430 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル　TEL 050-3139-7100　www.nihonsekkei.co.jp

人・夢・技術　株式会社 長大
代表取締役社長　永冶泰司
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町一丁目20番4号
TEL.03-3639-3301　FAX.03-3639-3366
http://www.chodai.co.jp/

AXS 株式会社 佐藤総合計画
代表取締役社長　細田雅春
本社　130-0015　東京都墨田区横網 2-10-12　AXSビル
Tel. 03-5611-7200　Fax. 03-5611-7226
地域事務所　横浜・東北・中部・関西・九州・沖縄・北京
http://www.axscom.co.jp

CTI 株式会社 建設技術研究所
代表取締役社長　村田和夫
〒103-8430　東京都中央区日本橋浜町3－21－1（日本橋浜町Fタワー）
電話（０３）３６６８－０４５１
URL:http://www.ctie.co.jp

株式会社 山下設計
代表取締役社長　藤田秀夫

安井建築設計事務所
代表取締役社長　佐野吉彦
本社　〒540-0034　大阪市中央区島町 2-4-7　TEL:06-6943-1371
支社　大阪・東京・名古屋・広島・九州　www.yasui-archi.co.jp

日立建設設計
Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd.
本社　〒101-0047　東京都千代田区内神田3-11-7
TEL　03-6757-7100　FAX　03-6757-7126
拠点　北海道／宮城／茨城／栃木／千葉／東京／神奈川／静岡／愛知／大阪／広島／山口／福岡／上海
HITACHI Inspire the Next

未来をプロデュースする。
パシフィックコンサルタンツ株式会社
代表取締役社長　重永智之
〒101-8462　東京都千代田区神田錦町３－２２
電話（０３）６７７７－３００１（代）
www.pacific.co.jp

わたしの働く建設現場

建設現場で働く人たちが、どのような楽しさやおもしろさ、醍醐味、目標、不安などをもって仕事に臨んでいるのか、生の声を紹介します。

積極的に聞いて学ぶ毎日
三井不動産ロジスティクスパーク川口ー新築工事
錢高組

安藤　桂子さん　目の前で工事が進んでいくことは凄いなと日々思います。現場業務は体力勝負な面もありつらい時もありますが、できることを少しずつ増やし、自分だからできることを見つけていきたいと思っています。世間では３Ｋと言われる建設業ですが、現場に出て工事に携わることができて毎日楽しいです。まだ知識も経験も足りないので、職人さんと話をして作業時に気にしていることや難しいポイントなどを積極的に聞いて学ぶ毎日です。

できあがる姿間近で見る楽しさ
Ｊヴィレッジ新宿泊棟新営工事
関電工

阿部　友海さん　現場で働く中で、建物ができ上がっていく姿を間近で見られることに楽しさを感じています。何もなかった場所に建物が完成した時の達成感は格別です。現場でなければ、なかなか味わうことができないものだと思います。一方、無事故・無災害で竣工を迎えるため、安全には最も気を配っています。何事もなく１日の業務を終えることが大切です。自分でできることが増えると面白味も増してくるので、知識を深めていきたいです。

熊本県民の想いに応える仕事
熊本城飯田丸五階櫓石垣復旧工事
大林組

青田　晴さん　奇跡の一本石垣で崩壊を免れた飯田丸五階櫓。私の使命は櫓の崩壊防止と櫓を解体するための仮設構台の設置と、今後復旧するために櫓を丁寧に解体することでした。仮設構台は石垣の反りを考慮した複雑な形状で、大掛かりな仮設計画は私にとって初めてのこと。前例がないため、多くの方策を一から検討し、計算を繰り返して答えを出しました。熊本県民の大きな期待が集まる中で役目を果たせた達成感と喜びは筆舌に尽くせません。

現場で価値を創る楽しさ
アズビル

田原　南さん　1906年の創業以来、計測と制御を追求するオートメーションメーカーで、わたしは大規模建物の空調自動制御のエンジニアとして、保守・メンテナンスの仕事をしています。一般の方が立ち入ることのできない有名な建築物の深部に入り、さまざまな制御状態を点検できるのは、すごく楽しい仕事です。男女の隔たりもありません。現場課題への対策を自分で考え、答えを見いだし、思いどおりに動いた時の達成感は格別です。

育休復帰、徐々に感覚取戻す
茨城県某工場
三建設備工業

小川　未来さん　入社して現場に配属されて４年。現在、現場管理を任されています。私は、昨年１年間の育児休業を経て今年４月に復帰し、時短勤務から始めました。復帰直後は何もできない自分に不安を抱えていましたが、徐々に仕事の感覚を取り戻していきました。子どもの事情でどうしても突然休んでしまうことや他の方に現場を見てもらわなければならない時があります。そんな時、日ごろの打ち合わせや作業当日の手順書、段取りをきちんと行うことで問題なく作業を進めることができ、やりがいを感じています。

働きやすい環境実感
浦安市液状化対策工事
ケミカルグラウト

寄藤　美乃里さん　私は自身の経験から液状化対策工事に携わりたいと思い、入社を決意しました。入社前は不安や心配ごとがありました。しかし、実際に働いてみると、女性用トイレを設置している現場が多くあり、働きやすい環境づくりが進められていることを実感しています。また、女性技術者が少ないからこそ、新入社員の私でも、新たな視点をもって活躍できる場面が多くあると感じています。早く一人前になれるように、技術の習得に励んでいきたいです。

建物に生命を吹き込む仕事
新奈良県総合医療センター新築工事
奥村組

伊庭　花子さん　2018年４月まで、当現場の電気設備工事の所長を務めました。何もない場所に建物が建ち、人が集い、明かりが灯って生命が吹き込まれる。何ものにも代えがたい感動です。しかし、「女性が現場で働く」ことで感じるストレスは、男性職員に気づいてもらえない場合もあります。現場の女性トイレをハウス型のものとし、全職長・職員を対象としたハラスメント講習を実施するなど、より良い職場環境づくりにも取り組みました。

苦楽をともした仲間と喜び分かつ
高速横浜環状北西線シールドトンネル建設工事
安藤ハザマ

劉　軒軼さん（リュウ・ケンイツ）　2016年に入社して、初めての赴任先が現在の工事現場です。当初は、うまく現場になじめるのか不安でしたが、現場の職員さん、職人さんからも温かい言葉をいただき、不安を乗り越えることができました。ことし９月にはシールドマシン到達の節目を迎えることができ、苦楽をともにした現場の仲間と喜びを分かち合い、ものづくりの醍醐味を味わうことができました。今後は工事の竣工に向けてより一層頑張っていきたいと思います。

職人さんにも〝熱い指示〟
阿倍野マンション作業所
青木あすなろ建設

永田　美帆さん　2017年４月に当社に入社し、新入社員研修後に配属となったマンションの新築工事も、あと数カ月で竣工を迎えます。配属当初は分からないことばかりで、汗だく泥だらけになりながら懸命に働く日々が続きましたが、今では後輩社員もでき、職人さんにも〝熱い指示〟ができるようになりました。１日も早く一人前の現場監督になって、今回の現場をしのぐ社会と人々の生活に役立つ建造物の建築に携わっていきたいです。

建造物の表と経験は唯一無二
ヤオコー本社ビル新築工事
清水建設

西川　早紀さん　入社６年目、コンクリート工事を任されました。所長から「考え抜きやり切れる人を選んだ」と言われ、誰にでも誇れる高品質で美観に優れた打放仕上の壁を造り上げようと決めました。やがて、何度も見てきたコンクリートが違う物体に感じられ、粗骨材形状による流動性、プラントの違いなど仕上がりに与える影響が見えるようになりました。経験を積むことでコンクリートは誰でも打てます。しかし、この建造物からあふれ出る表情と培った経験は唯一無二であり、これが醍醐味だと感じています。

常に先の工程を意識
梅ヶ谷トンネル（仮称）整備工事（西ー梅ヶ谷の２）
鴻池組

西村　咲希さん　現場勤務の醍醐味は、担当工種について先を見据えながら作業員さんと打ち合わせを重ねて工程を描き、それらが段取りよく進んだ時の達成感です。時には周囲と意見がぶつかることもありますが、それらの過程も含めて担当工種が完了した時にはやりがいを感じます。私にとって初めてのトンネル工事で、一から学ぶことも多く不安もありますが、積極的に現場の前線に立ち、常に先の工程を意識しながらコツコツと取り組んでいきたいと思います。

信頼される現場監督に
ところざわサクラタウン新築工事
鹿島

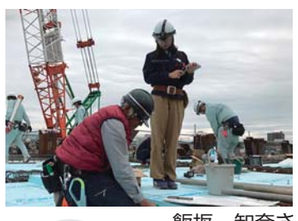
梅村　実菜さん　今は目まぐるしく変化する現場の状況についていくのが精一杯ですが、知識を吸収できることに面白みを感じています。同じ目標に向かって多くの関係者が協力する姿は何よりの現場の魅力です。段取りが悪く迷惑をかけ怒られることも多々ありますが、現場のために頑張ってくださる職人さんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。いつか一連の工程や工種を理解し、自分で立てた計画で現場を動かし、周囲から信頼される一人前の現場監督になりたいです。

現場とともに成長していく
東北通幹線耐震化工事（高速道横断工区）
岩田地崎建設

福川　春菜さん　高校時代は看護を学んでいましたが、当時見たトンネル事故をきっかけに「人の怪我を治すのではなく、怪我をさせない仕事がしたい」と思い、建築・土木の世界に飛び込みました。分からないことも多いですが、純粋にものづくりに一番近い現場で働けることは嬉しく思います。現場の環境も整っており、シールド工法でのトンネル掘削工事の現場で先輩たちの背中を見て、経験を重ねながら会社とともに成長していきたいと思います。

アイデアが形になるのが魅力
東京本店建築部工事課
淺沼組

鈴木　奈津実さん　ものづくりが好きで自分のアイデアが形になるのが魅力です。まだまだ覚えることは多いですが、竣工した建物で自分が担当した個所を見たときは達成感があります。ずっと現場に出て働きたいと思っていますがまだ子育てしながら現場で働いている方がいないので、自分がロールモデルになっていきたいです。会社も環境面・体調面を配慮してくれていますので、そのサポートを生かして自分に誇りを持てる技術者を目指します。



右往左往も少しずつ学ぶ
群馬県コンベンション施設会議・展示施設空調設備工事
新菱冷熱工業

飯坂　知奈さん　目の前でどんどん建物が建っていく様子を見ていると、わくわくします。工事は、まだ本格的に始まっていませんが、スリーブ検査や作業員の管理などを任されています。地域の方々も注目する大きな施設です。良いものを納められるよう日々の業務に取り組んでいます。現場経験が浅いため右往左往することもありますが、作業員の方と会話をしながら少しずつ学んでいます。まだまだ未熟ですが、いつかは現場代理人として１つの現場を担当するのが目標です。

職人技の刺激にやりがい
（仮称）上杉三丁目計画
佐藤工業

末永　祐子さん　現場で働くことの楽しさとして、毎日の変化を挙げます。コンクリート躯体に配管・配線され広い空間が間仕切られ…。自分の歩く場所の景色が毎日めまぐるしく変わります。また〝職人さん〟という先生にたくさん囲まれているので職人技を目の当たりにすることは勿論、日々の会話でも刺激が多く、やりがいを感じています。施工管理者としての自分を確立・成長させ、全員が１つの目標に向かって気持ちよく仕事ができる現場をつくっていきたいです。

現場ならではの団結力
（仮称）名古木保育園新築工事（日比野設計＋幼児の城）
元旦ビューティ工業

南　龍太郎さん　建物が完成するまでの過程を直接見ることができ、建築物の迫力やデザイン性にも間近で触れることができます。良い建物をつくり上げるには、監督員や各作業員が持つ「技術」と「技能」を結束しなければなりません。そこには建設現場ならではの団結力が生まれ、現場で働く楽しさにつながります。今回の物件では図面の中で納まりを表現できない部分があり、諸先輩方の「知識」や「経験」を元に苦労して納めました。工事が完成した時の達成感を協力会社の皆で共感できることは、醍醐味だと思います。

地面の下の世界を直接見る
四国ダム関連地質調査業務
応用地質

関口　絢子さん　私は主に四国のダム関係の現場で、さまざまな地質・地盤の調査を行っています。中でもボーリング調査は、地面の下の世界をコアという形で直接見ることができるという、とても面白く魅力的な仕事です。多くの協力会社の方（多い時で約30人）と一緒に作業をしているため、報・連・相での苦労はありますが、採取が困難な地質など、貴重な情報をもった高品質コアを皆の努力で採取できた時に大変やりがいを感じます。

次こそはと思い臨む現場
噴火履歴調査、減災計画・避難計画作成調査
アジア航測

成毛　志乃さん　火山防災に係る業務に就いています。現場では、学識者とともに火山噴出物を調査することがあります。露頭を前に、堆積当時の状況を次々と考察する学識者に対して、面白いと感じると同時に、知識と経験不足でなかなかついていけずに歯がゆい思いをすることがあります。次こそは、と思いながら現場に臨んでいます。火山活動でできた美しい景色を見ることや、宿泊先で温泉や地元のお酒を楽しむことがモチベーションです。

株式会社 大林組　取締役社長 蓮輪賢治
鹿島建設株式会社　社代表取締役長 押味至一
清水建設株式会社　取締役社長 井上和幸
大成建設株式会社　社代表取締役長 村田誉之
株式会社竹中工務店　取締役社長 宮下正裕
戸田建設株式会社　社代表取締役長 今井雅則
安藤ハザマ　社代表取締役長 福富正人
熊谷組　取締役社長 櫻野泰則
佐藤工業株式会社　取締役社長 宮本雅文
鉄建建設株式会社　社代表取締役長 伊藤泰司
飛島建設株式会社　社代表取締役長 乘京正弘
西松建設株式会社　社代表取締役長 髙瀬伸利
前田建設工業株式会社　社代表取締役長 前田操治
五洋建設株式会社　社代表取締役長 清水琢三
三井住友建設株式会社　社代表取締役長 新井英雄
長谷工コーポレーション　社代表取締役長 辻範明
青木あすなろ建設　社代表取締役長 辻井靖
株式会社浅沼組　社代表取締役長 浅沼誠
株式会社奥村組　社代表取締役長 奥村太加典
株式会社鴻池組　社代表取締役長 蔦田守弘
錢高組　社長 錢高久善
株式会社竹中土木　取締役社長 竹中康一
大豊建設株式会社　社代表取締役長 大隅健一
東亜建設工業　社代表取締役長 秋山優樹
東急建設株式会社　取締役社長 今村俊夫

モノづくりの楽しさと痛感

博多港（アイランドシティ地区）道路－P17～P21橋梁下部工事－C作業所

みらい建設工業

三原　奈未さん　入社当時は、現場のみなさんとうまくコミュニケーションが取れるのか不安でしたが、今では現場の雰囲気にも慣れ、私の方から積極的にコミュニケーションを取ることができるようになり、現場の一員として、つくり上げるモノづくりの楽しさを痛感しています。今は、写真管理および測量業務を行っていますが、現場の先輩に日々ご指導いただいて、毎日楽しく過ごしています。また、担当している工事が地図に残る仕事だと思い、誇りを持って言える仕事だと感じています。

心つかまれる大きな達成感

（仮称）大阪市東淀川区相川一丁目計画新築工事

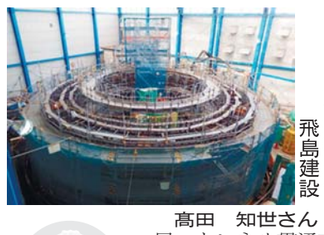
長谷エコーポレーション

別所　洋奈さん　現場の醍醐味は、建物が日に日に完成していく様を間近で見て感じ、携われることです。人の何百倍、何千倍もパワーのある重機や、１、２㌧にこだわる職人さんの物つくりへのプライド、人の何十倍もの高さ・広さのある建物を多くの人と協力して作る楽しさは現場でしか味わうことができません。建設現場では男女関係なく、心つかまれる大きな達成感を味わうことができ、完成後その建物を利用される多くの人の笑顔を生むことができると確信しています。

建設業は夢がある仕事

西東京市向台町四丁目地内から小平市天神町三丁目地内間送水管（2000㍉）用立坑築造工事

飛島建設



髙田　知世さん　入社１年目、トンネル貫通式に参加しました。初めて発破の音を聞いた時に無意識にお腹に力が入り、貫通したことで入る光や風など、五感で貫通したことを感じ、とても感動しました。当社の伊藤寛治会長の言葉に、「誇りとしての３Ｋがわれわれには存在する。それは協力、感動、貢献である」とあります。日々の生活の中で、当たり前に使用しているすべての社会基盤には、この素晴らしい３Ｋが存在することに、建設業は夢がある仕事だと感じています。

丁寧な現場づくりで応える

高砂熱学工業

小野寺　由希子さん　現場では、たくさんの人が「工事を無事に完成させる」という同じ目的に向かって進んでいます。監督という立場上、自分で判断をしなければならないことが多く、歳も職種も違う方々が、共通の目的のために動いてくださることに、やりがいとともに光栄なことだと感じています。今後は、女性ならではのコミュニケーション力を生かして、今まで以上に丁寧な現場づくりをし、お客様の要望に応えられる仕事をしていきたいです。

事象に合わせて迅速判断

海老江下水処理場改築更新事業

大成建設

鈴木　由美さん　土木の技術職で地域限定の専門職として採用されましたが、結婚を機に配偶者と同居するため勤務地変更制度を利用し、出産・育休を経て復帰しました。入社以来、現場配属は初めてで、事象に合わせて迅速な判断が求められる現場の難しさを実感しつつ、周りの方々に恵まれた環境で仕事ができることに感謝しています。弊社では子育て中にフレックスやテレワークを利用できますので、活用しながら今後も業務に励んでいきます。

向かい合うことで相手を理解

月島一丁目西仲通り地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物等の新築工事

六興電気

三井　裕子さん　女性施工管理者といっても、性別が女であるだけで仕事内容は変わりません。現場の環境はとても改善されていて、不自由なく過ごしていると思います。上司や先輩には、私の考えや悩みなどをたくさん聞いていただきご指導いただきました。その上で１番大切なのは会話をすることだと思います。現場内の内容であれば、なるべく現地に行って話をするように心掛けています。向かい合うことで相手を理解し、接していきたいと思います。

一つひとつの知識が経験工学

（仮称）天神ビジネスセンター新築工事

前田建設工業

内野　陽子さん　建築と土木が融合した現場であり、日々新しい知識を学ぶことのできる現場だと思います。新しい工種を担当するたびに不安もありますが、周りの上司のサポートのおかげで、やり遂げることができ、その一つひとつの知識が経験工学として自分の身になっていくことが、〝向上心や仕事の面白み〟となっています。今後、大きな作業所のチームの一員として貢献できるように〝思いっきり〟仕事に取り組んでいきたいです。

建物完成時の感激は格別

専修大学靖国通り神田新校舎（仮称）新築工事（衛生設備工事）所長

西原衛生工業所

倉田　綾香さん　大学で建築を学んでいた時、「建物の血管」と言われる設備に興味を持ち、就職を決めました。当時、現場で女性の先輩は２人だけでしたが、女性初の現場代理人が誕生するなど、少しずつ女性に優しい環境が整ってきました。現在は私も現場代理人（２人目）になりました。皆と一緒に協力して建物をつくり、竣工・稼働した時の感激は格別です。つらいことも多いですが、この達成感があるから頑張れる気がします。

工夫や業務の見直しで効率化

竹中工務店工務部施工事務（東関東）

熊谷　優香さん　日々業務に追われながらも、周囲の理解や協力のもと、育児フレックスタイム制度を活用し、育児と仕事の両立を図っています。時間が限られているからこそ、工夫や業務の見直しにより効率をあげることを意識するようになりました。ワーク・ライフ・バランスや女性の社会進出が求められる今、多くの女性が結婚・出産を経験しても現場で働くことができるよう、さらなる環境改善に貢献していきたいです。

設備見せて興味持って

玉川学園STREAM Hall2019建設工事

ダイダン

松田　智美さん　現在、大学校舎の空調・衛生設備新築工事の施工管理をしています。施工している建物の特徴として、複数の学部が利用する予定なのでさまざまな用途の部屋があります。また、建物自体のつくりを見せるため、天井ボードをなくしてダクトや配管が見える計画となっています。通常見えないこのような設備を見て、将来この施設を利用する学生が、少しでも建築やモノをつくることに興味をもってもらえたら嬉しいです。

一から携わる醍醐味

（仮称）海老名駅間マンション計画新築工事

三井住友建設

大西　咲絵さん　ものづくりに一から携わることができるのが、現場で働く醍醐味だと感じます。日々の変化を肌で感じ、上棟・竣工に向けて関係する多くの人たちと一緒に仕事をする。外から見る景色とは全く違った印象で、毎日学ぶことばかりですが、とてもやりがいがあります。男性社会と言われる建設業で働くことは、少なからず不安はあります。しかし、所長はじめ、諸先輩や職人の方がたに働きやすい環境を整備していただいているので、日々、充実しています。

見えなくても知っている優越感

国道9号京都西共同溝シールド西部工事

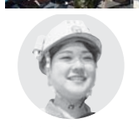
西松建設

内山　明日香さん　京都市の主要幹線である国道９号に共同溝をつくるためのシールド工事をしています。測量のたびに坑道を歩きますが、完成後には見ることができなくなります。もちろん地図にも残りません。仕事は楽しいことばかりではなく苦しいこともたくさんあります。ですが、たくさんの人たちと協力して、物事を成し遂げる達成感があります。目に見えなくても携わった者だけが知っているという優越感もあります。それが現場の魅力です。

女性ならではの魅力を模索

羽衣駅前地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事

戸田建設



青木　香織さん　現場は建物をつくっていく過程に間近で携われることに楽しさややりがいがあります。日々、めまぐるしく進んでいく現場で多くの職人さんとコミュニケーションを取りながら作業を進めています。仕事で悩むこともありますが、周りの方のアドバイスを聞きながら自分なりに解決しています。まだまだ、女性が少ない業界で結婚・出産などのライフイベントに不安がありますが、「女性ならではの魅力」が発揮できないか模索していきます。

現場はカタチにしていく場所

王子第二ポンプ所建設その2工事

大豊建設

日暮　千晶さん　建設現場は、計画や設計などを通して大勢の人が携わってきたものを、大勢の人と協力して〝カタチ〟にしていく場所だと思います。現場の仕事は一筋縄ではいかないと思うことが多々ありますが、自分で考え、時には上司や職人さんに聞いたりしながら解決策を見出しすべての歯車がうまく噛み合って工事が進み、竣工した時の喜びは格別です。私には２歳の息子がいますが、子どもが大きくなったら、これママがつくったんだよ！と自慢したいです。

化学とデザインで面白いこと
アイカ工業
http://www.aica.co.jp

こども川柳　大集合

働くママ・パパを川柳にしたためました！

◇は、この句を思いついた理由

■カリコリサラダ　小学2年生　（日特建設）
「おかあさん　休みの日には　ねてばかり」
◇いつもごはんやせんたくして朝は「ちこくする～！」ってさわぐのに、休みの日はねてるからです。

■さらちゃん　小学2年生　（大豊建設）
「おとうさん　いっしょにいこうね　どうぶつ園」
◇おとうさんと、とうぶどうぶつ公園にいきたいからです。

■けがするピアニスト　小学3年生　（アジア航測）
「おとうさん　あさもよるも　あえないね」
◇いそがしいお父さんにおきているとき会えなくてさみしいから。

■ひろぴー　小学3年生　（アジア航測）
「お母さん　せんたくたたみは　休みの日」
◇平日はおしごとと、お家のことと、ぼくたちのことでおせんたくがたためないからお休みの日にたくさんのおせんたくをいっしょうけんめいにたたんでいます。山もりのおせんたくをお休みの日にたたんでくれているから、思いつきました。

■みう　小学3年生　（建設技術研究所）
「おとうさん　みんなのために　がんばるよ」
◇お父さんがいつも夜までがんばっているから。

■WAKO　小学3年生　（建設技術研究所）
「お父さん　どんだけビールで　できてんの」
◇お父さんは、毎日毎日毎日毎日毎日毎日ビールを飲んでいるので思いつきました。

■あーさん　小学5年生　（建設技術研究所）
「お母さん　ビールをのむと　上きげん」
◇お母さんはビールをのみおわるときげんがよくなるから。

■九条ひかり　小学5年生　（建設技術研究所）
「お母さん　外と家とで　ちがう顔」
◇友達のお母さんとかの前では優しいのに、家だとおこるから。

■SAKU　小学5年生　（建設技術研究所）
「仙台は　どこの国かと　妹が」
◇家族でテレビを見ていた時に妹に知っている国を聞いたら「アメリカ、日本、仙台」と言ったのでみんなで笑ったことがありました。妹はいろいろおもしろい質問もしてくるのでこの句を思いつきました。

■野球人　小学5年生　（建設技術研究所）
「おとうさん　パソコン夜まで　見つづける」
◇休日の昼から夜まで、ほぼ見つづけて、ねるときも電気がついていてすごいと思いました。

■りんりん　小学5年生
（パシフィックコンサルタンツ）
「水曜日　家族で食べる　晩ご飯」
◇お父さんがいつも水曜日に早く帰ってきてくれる日だからです。

■ただの犬　中学3年生　（応用地質）
「ワンピース　働く母の　戦闘服」
◇母はいつも会社にいくとき、スーツではなく、ワンピースを着ているからです。ワンピースを着ている理由は、しわにならず、洗濯しやすいそうです。時間短縮になります。似合ってます。

東洋建設株式会社　代表取締役社長　武澤　恭司
東鉄工業株式会社　代表取締役社長　柳下　尚道
ナカノフドー建設　代表取締役社長　竹谷　紀之
松井建設株式会社　取締役社長　松井　隆弘
みらい建設工業株式会社　代表取締役社長　小西　武
岩田地崎建設株式会社　代表取締役社長　岩田　圭剛
阿部建設株式会社　代表取締役　阿部　典義　千葉県旭市ニ－一五二八　電話（〇四七九）六二－一二二一
三井住建道路株式会社　代表取締役社長　松井　隆幸
株式会社関電工　取締役社長　森戸　義美　ひとりひとりが、未来を灯す。　東京都港区芝浦四－八－三三　電話（〇三）五四七六－二一一一
きんでん
三建設備工業株式会社　代表取締役社長　松井　栄一　空気と水の環境創造企業　東京都中央区新川一－一七－二一　電話（〇三）六二八〇－二五六一
株式会社三晃空調　社長　齋藤　昌宏　理想の環境創りを目ざす空気調和・衛生設備・設計施工　本社　大阪市北区西天満三－一三－二〇　電話（〇六）六三六三－三七－（代）　大阪本店　東京都新宿区西新宿二－七－一（小田急第一生命ビル）　電話（〇三）三三四四－七九一一（代）　東京本店
振興電気株式会社　代表取締役社長　門間　俊道　すべてのコネクトにはメッセージがある　本社　東京都品川区大崎二－一－一－一　電話（〇三）三四九四－一七八〇
新菱冷熱工業株式会社　代表取締役社長　加賀美　猛　さわやかな世界をつくる　本社　東京都新宿区四谷二－一四
ダイダン株式会社　代表取締役社長　藤澤　一郎　光と空気と水を生かす　URL http://www.daidan.co.jp
高砂熱学工業株式会社　代表取締役会長兼社長執行役員　大内　厚　人・空気・未来　本社　東京都新宿区新宿六－二七－三〇　電話（〇三）六三六九－八二一一
西原衛生工業所　取締役社長　三村　浩一　給排水衛生設備・消火設備・冷暖房設備の設計施工　東京都港区芝浦四丁目一番八号（三田ツインビル東館）　電話（〇三）五四二七－六〇八〇（代表）
日本リーテック株式会社　代表取締役社長　田邊　昭治　東京都千代田区神田錦町一－六　電話（〇三）六八八〇－二七一〇　FAX（〇三）六八八〇－二七五〇
六興電気株式会社　代表執行役社長　長江　洋一　本社　東京都港区芝大門一－一－一三〇　電話（〇三）三四五九－三三六六（代表）　URL http://www.6kou.co.jp
アズビル株式会社　代表取締役社長　曽禰　寛純　azbil　東京都千代田区丸の内二－七－三（東京ビル）　〒一〇〇－六四九　電話（〇三）六八一〇－一〇〇六
元日ビューティ工業株式会社　代表取締役社長　船木　亮亮　本社　神奈川県藤沢市湘南台一－一－二二　〒五二－〇〇八四　電話（〇四六六）四五－八七七一　URL http://ganten.co.jp
昭和フロント株式会社　代表取締役社長　笹澤　英夫　〒一〇一－〇〇四七　東京都千代田区内神田一－一三－七　電話（〇三）三一九三－六七三七（代表）　FAX（〇三）三一二九三－〇四一七
ケミカルグラウト株式会社　代表取締役社長　立和田　裕一　東京都港区虎ノ門二－一－五　電話（〇三）五五七五－〇五一一